

# 大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会風景

## 大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会

### 「感覚と運動の生理学」①

—生理学入門—

講師：曾我部 正博 先生(名古屋大学 大学院医学研究科 細胞科学大講座 主任教授)

日時：2009年8月22日(土)

会場：大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 Osaka Kaisei Rehabilitation Society

URL : <http://www.kaisei-hp.co.jp/center/rihabiri.html>

今回はお忙しい中、曾我部正博先生を講師にお迎えし、ご講義いただきました。生体細胞内の情報処理より電気信号の流れと活動電位の意義、電気信号がなぜ生体内で変化しなければいけないのか、大変わかりやすい内容でお話いただきました。今まで着目できていなかった世界をたくさん教えて頂き、再度、電気信号の発生機構を深めることができる良い機会となりました。

曾我部正博先生、本当にありがとうございました。

#### <講義風景>



## アンケート集計

### ① 講習会内容にて一番興味をもてたこと

- 生体内の電気信号について
- デジタル信号の意義
- 信号の変調、周波数変調
- 電圧がどのようにして発生しているのかについて
- 活動電位の意義

### ② 疑問に思ったこと

- 細胞内情報処理
- 電位差の異常が身体に及ぼす影響について
- どのように治療にいかしたら良いか

### ③ 難しく感じたところ

- 細胞情報処理の部分
- 膜電位について
- 生理学的基礎が及ばず全体的に難しかった
- 筋の異常が神経の異常かを判断する点
- 電気刺激に対する神経の膜電位応答について
- 濃度勾配について

### ④ 講習会感想

- 難しい内容でしたが、興味深く聞かせて頂きました
- 予習が必要だと感じました
- 生体における反応がどのようにおきるかを分子レベルでお話頂き大変興味を持ってました。臨床現場でどのようにつながってくるか、心疾患や腎不全の例とも合わせて教えて頂けると嬉しいです)
- 生理学の勉強の大切さを感じました
- 難しかったが続けてシリーズを聞いてみたいです
- 難しかったと同時に、細かいところまで考え刺激を入れなくてはいけないと再度思いました
- 筋だけが責任病巣ではなくその他にも目を向ける必要があると気付けた
- 日ごろあまり触れない内容で全体的に難しく感じた